

校長室だより

令和8年 6月12日(金)
第 11 号
十日町市立中条中学校校長室

全国学力・学習状況調査(その3 英語)

今年の全国学力・学習状況調査は英語も実施されました。1人1台端末を使ってのテストC B T (Computer Based Testing) と言われています。端末からウェブ上にアクセスし回答します。英語は4技能と呼ばれる「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を見るので、端末にヘッドセットをつないでテストを受けることが必要になってきます。

今回は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の問題を取り上げて、国として身に付けさせたい力を考えていきます。



文部科学省の問題の意図を見ると、「聞くこと」「読むこと」では、「必要な情報を聞き取る、読み取る」「要点をとらえる、概要をとらえる」、「書くこと」では「まとまりのある文章を書く」となっています。これは学習指導要領が求めている内容だと言えます。実際の問題です。

「必要な情報を聞き取る」【問題文】

あなたは留学先で学校見学に参加し、体育館で説明を聞くところです。【あなたのカード】の番号は「30」です。先生の質問を聞いたあと、【質問】が流れます。4つの選択肢の中から質問の答えとして適切なものを選びなさい。

【学校見学での説明】 	【あなたのカード】
【質問】 Where will you go on the school tour?	
【4つの選択肢】 1. classroom A 2. gym 3. library 4. music room	

回答 4

英語の音声スクリプト【画面1】

Thank you for joining our school tour. Please look at the number on your card. I will tell you the place to go and the thing to do.

Number 1 to number 10, please stay in the gym. You will watch a movie about school life.

Number 11 to number 20, please go to classroom A. You will experience a math class.

Number 21 to number 30, please go to the music room. You will listen to the school song.

Number 31 to number 40, please go to the library. You will talk with our students.

Enjoy your tour!

現在の英語の授業では、「目的・場面・状況」を意識した学びを大切にしています。これまでのように単語や文法をただ覚えるだけでなく、「何のために」「どんな場面で」「どのような状況で使うのか」を考えながら英語を使うことを目指しています。

例えば、「友達に自分のことを伝える」「お店で注文をする」「海外の人に道を説明する」といった具体的な場面を想定し、実際に使える英語を練習します。こうした学習を通して、子どもたちが自分の考えや気持ちを英語で伝えようとする力、相手や状況に応じて表現を選ぶ力を身に付け、将来にわたって英語でコミュニケーションできる力を育てていきます。この問題でもまず、場面がどうであるのかをつかみ、聞き取りをしなければなりません。

この問題を解く場合でも、「留学での学校説明」「順番のカード」を持っているなど、英語では表れない情報を整理して聞き取る力が必要です。英語の問題でもイメージできる創造力が必要なことが分かります。

【問題文】 次の文章は、留学生(exchange student)のジャック(Jack)が日本の学校で体験したことを題材にした

【物語】

「短い文を読み概要をとらえる」問題

Jack studied Japanese at school when he was in Australia. The school decided to send him to Japan as an exchange student, so he was excited about studying in Japan.

At school in Japan, Jack made a short speech in Japanese. When he was speaking Japanese, he made mistakes. He thought his classmates did not understand his speech. He felt sad, but he finished his speech.

Later at lunch time, a girl came to Jack and said, "I'm Misato. Your speech was great! I was able to understand your Japanese." Jack smiled and said, "Thank you for your kind words." He felt happy. After that, he tried to use Japanese more.

【物語】です。【物語】の初めから終わりまで、ジャックの気持ちがどのように変化したかをまとめたものとして最も適切なものを選びなさい。

この文章の場面を整理すると、“when he was in Australia” “At school in Japan” “Later at lunch time” の3つの場面があります。“Jack studied ~” “Jack made ~” “a girl came ~”

は3つの場面での登場人物の行動です。“excited” “sad” “happy” はそれぞれ3つの場面でのジャックの気持ちとなっています。それをつかめるかです。

正解は、選択肢3の以下の文です。もとめられているものが全て入っています。

Jack was excited about studying in Japan.

At school in Japan, he felt sad during his speech in Japanese.

Later, he felt happy when he heard Misato's kind words.



正解ではないですが、正解に近い選択肢4の文も見てください。

Jack studied Japanese at school in Australia.

At school in Japan, he felt sad during his speech in Japanese.

Later, he felt happy when he heard Misato's kind words.



これは場面に沿った出来事とはとらえていますが、問題の「気持ち」が最初の場面に記述されていません。(下線部) 問題が問うている内容を踏まえて、よく見ていく必要があります。

英語でも普通の授業の中で、いかに「目的・場面・状況」をイメージして英語を聞いたり、話したり、書いたりしているかが求められています。たとえ私たちの多くは、英語を日常的に使わなかったとしても、日本語を通して言語を支えるイメージ、非言語的な能力が必要です。

非言語的な能力とは、言葉を使わずに思考や行動を支える基盤的な力のことです。注意力(集中して物事を見る・聞く)、記憶力(情報を保持する)、観察力(細かな違いに気付く)、空間認識・イメージ力、感情の理解・調整力(表情や態度の読み取り)、身体感覚・運動調整力等々。「学ぶための頭の土台」と言われています。これらは日常の様々な経験で身に付けるものだと思います。学校での授業だけでなく、家庭でもできそうなことがたくさんあります。非言語能力の育成についても今後考えていきます。